

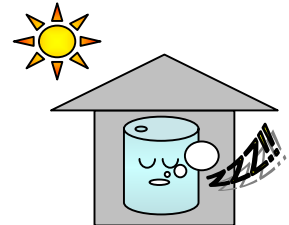
【第17回】 洗淨剤の管理

洗淨剤の使用上の管理について

洗淨剤のタイプは、水系、準水系、エマルジョン系、粉末系等あるが、今回は、水系と準水系について解説する。洗淨剤の使用管理については、大方各メーカーのカタログや取扱説明書にも記載されており、これらの内容を参考にして管理するのも一策である。

1. 保管

洗淨剤には、水や溶剤等が配合されており、内容変化を防ぐ為にも、高温下での保管を避け、屋内冷暗所に保管する。また、一度開封した容器は密閉をする。



2. 日常管理

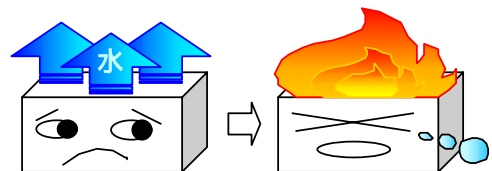
適正液量と洗淨性能・乾燥性能維持や低起泡性を維持する為に使用温度・濃度を管理する。

1) 水系洗淨剤

洗淨性能を維持する為、定期的に濃度を測定し適正濃度を維持する。

2) 準水系洗淨剤

水分が極端に減少すると、引火の危険がある為、定期的に水分測定し適正水分量を維持する。

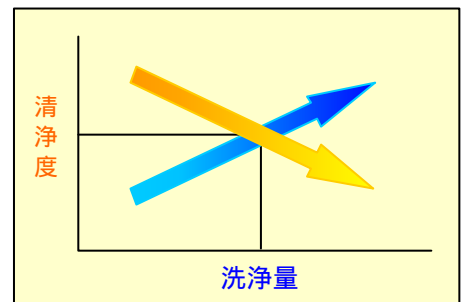


3. 劣化性判定

洗淨の品質を維持する為に、洗淨液の状態を頻繁に観察することが重要である。

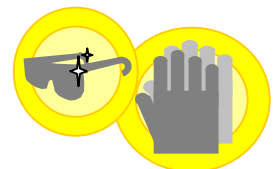
オイルスキマーやカートリッジフィルター等の物理的な方法による異種油や異物の除去も重要なポイントである。

洗淨液の劣化性の判定は、洗淨部品の清浄度によって異なる為、予め洗淨回数（洗淨回数）と性能（清浄度）との関係を把握し、その時期前に全量更新して新液状態に還元し使用する。



4. 安全管理

一般に使用する水系洗淨剤はアルカリ性であり、準水系は脱脂性が強い溶剤が使用されており、それぞれに適した保護具を着用して作業する。



5. 廃棄

洗淨液を廃棄する際は、洗淨液の組成によって簡単に処理できない場合がある。使用している製品の取扱説明書やMSDSを取り寄せ、

「廃棄上の注意」に記載されている内容に従って適正に処理する。

